

平成29年2月15日

社長通信

会社は社員と社員の家族の幸せにすることが、社員はお客様を幸せにすることが使命であると私は考えています。
アストラックス株式会社
代表取締役 石川 均
№3号

如月です。寒さのために更に着物を重ねて着るので「衣更着」という説があります。2月は3日が節分、4日が立春と旧暦では年の、また、季節の変わり目の月と言われています。

【もう2月...(^ ^;)】

昔から、1月は行ってしまふ、2月は逃げてしまふ。3月は去ってしまふと言います。この前、新年あけましておめでとうございますと挨拶したばかりなのに、気が付けば2月の声を聴いています。早いものです。何もしなければこんな調子で1年が過ぎ去ってしまいます。と言ってる本人が毎年、同じ轍を踏んでいます。あの新年の誓いはどうなったのか、どれだけ誓って、どれだけ忘却したか?何を新年の誓いとして立てたのか?という事すら忘れていたらいけませんね。早め早めに振り返って、思い起こしていくことが大事だと思います。ちなみに私の新年の誓いは…『本気』です。別途、ご案内する機会があれば、披瀝したいと思います。

【会社の業況・行事について】

人手不足の中、お客様にご迷惑をかけることなく、配送を手掛けることが出来ないか、検討をして行く予定です。多頻度小口配送が常態化しつつある現在、非効率な配送からの脱却は急務です。同業他社様と協力していくことも視野に入れるべきかと思っています。

実際、昨年12月に大手運送会社では7日程度の荷物の遅延が発生しました。年末には他の大手でも同様な問題が発生しました。物量に配送能力が追い付かない状態が発生しつつあります。大手ですらこのような状態です。私たちの様な中小零細運送業が効率化を推し進めなければ、早晚行き詰ってしまいます。

日本経済新聞にも『瀬戸際の物流』という記事が連載されました。週に1万人のペースで労働人口が消えていくそうです。人手が不足する中で今まで通りの形態で物流機能を維持することはもはや困難であることを示していました。同時にどのようにしていくべきかについても示唆した内容でした。

大切なお客様の商品を確実に配送するためにも、協議を進めて行きたいと考えております。

先月もご案内しましたが、2月11日(土)に新年会を開催しました。於藤枝四川飯店。大勢の社員の皆様方、ご来賓の皆様方にご参加頂きました。総勢百余名の参加となりました。ビンゴゲームでは大いに盛り上がりました。

2月6日(月)から一階事務所の改築工事が始まりました。騒音や粉じん、一部通行に支障が生ずる等業務のご迷惑となりますが、ご容赦ください。宿直室を2階に移動し、手狭な1階事務所を拡張します。工期は1ヵ月程度を予定しています。

【独り言】

アメリカではトランプ政権が発足しました。就任直後に大統領令を発し、波紋が広がっています。政治的なことに口を挟むことは避けませんが、このようなポピュリズム(大衆迎合)の流れは今後強まっていくのでしょうか。少々心配になります。現状の不満のはけ口に政治が利用されるというのは如何なものか。立ち止まって再考する必要もありそうです。この先、日本でも起こるのでしょうか?

民主主義の最先端を行く、米英が保護主義的な思考に、対極にいるはずの中国が自由主義的な発言をする時代になりました。行く末が益々見えなくなって来ました。